

| 特集 |

困ったとき この症状に

総合診療やプライマリ・ケアの現場では「全身倦怠感」「あちこち痛い」「めまい」「微熱」を主訴に専門科を受診しても異常がなく、原因不明の不定愁訴とされる患者に数多く出会う。診断名をあえてつけると「機能性身体症候群」「身体症状症」「慢性疼痛」などとなるが、有効な治療法の提示は簡単ではない。

また、朝起きられずに不登校となる中学生や高校生、月経前症候群や更年期の症候への対峙を求められることもある。さらに最近では、コロナ感染後に「不定愁訴」的な症状で受診する患者も増えている。

これらの患者に対して、西洋医学の枠組みだけでは満足のいく結果を出すことは難しく、そこで「困ったときの漢方」と考えてみてほしい。

「漢方」と聞くと難しい理論を思い浮かべ、いわゆる「証」というものを正確に見立てることができないとダメなのではないか、と思う読者も多いかもしれないが、本特集では「この症状に役立ちます!」に焦点を絞って、明日の日常臨床に即役立つ特集としたい。

企画 | 鈴木富雄

の漢方 役立ちます!

かぜの漢方治療アップデート

おなかの調子が悪いんです

あちこち痛いんだけど…

めまいが治らない…

おもだるい、雨の前の頭痛、むくむ、排尿の不調のあるとき

ほてりと冷え、多汗で困るとき

皮膚炎が治らない

月経諸疾患や症状にどう対応する?!

気力が出ない、食欲がないとき（コロナ後遺症にも対応）

いわゆる不定愁訴には?

在宅医療や終末期に使える漢方薬は?

小児の心身症に使える漢方薬は?